



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6572 URL http://rpa-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (3560) 4880
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	4,776	31.0	346	1.1	272	△19.0	90	△56.9
2019年2月期第2四半期	3,645	—	342	—	335	—	210	—

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 90百万円 (△56.9%) 2019年2月期第2四半期 210百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	1.63	1.44
2019年2月期第2四半期	4.07	3.59

(注) 1. 当社は、2018年2月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	18,592	13,161	70.8
2019年2月期	9,644	5,647	58.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 13,156百万円 2019年2月期 5,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,016	71.2	1,603	67.9	1,561	71.9	931	66.6	17.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	58,054,500株	2019年2月期	53,700,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	一株	2019年2月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	55,626,087株	2019年2月期2Q	51,629,890株

(注)当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、企業業績や雇用環境に改善が続いており、引き続き緩やかな回復基調が続いているものの、米中の貿易摩擦による景気減速懸念等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるRPA市場は、引き続き新聞、雑誌、WEB媒体で掲載されるなど注目度は高く、市場環境は依然良好な状況が続いております。

こうした環境の中で、当社グループは、既存顧客案件の継続・追加及び新規顧客案件の獲得に注力し、引き続き成長を遂げております。また、組織体制強化のための人材採用、更なる成長に向けた広告宣伝活動に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,776百万円（前年同四半期比31.0%増）、営業利益は346百万円（前年同四半期比1.1%増）、経常利益は272百万円（前年同四半期比19.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」事業に含まれていた「コンサルティング」事業の名称を「RaaS事業」に変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「RaaS事業」について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、既存顧客による「BizRobo!」の追加導入、及び直接販売、パートナー販売による新規顧客への「BizRobo!」の新規導入が引き続き順調に推移しました。一方で今後の成長の加速を企図した人材採用、事業開発等の先行投資と導入裾野拡大を企図したBizRobo!miniの導入により利益水準は低下しました。

その結果、売上高は1,812百万円（前年同四半期比22.3%増）、セグメント利益（営業利益）は238百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材サービス関連の既存分野は順調に広告主の利用が拡大するとともに、人材サービス関連以外の新規参入も広告主の利用が拡大し、順調に業績を伸ばしました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は2,817百万円（前年同四半期比47.6%増）、セグメント利益（営業利益）は350百万円（前年同四半期比213.3%増）となりました。

RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は20百万円（前年同四半期比64.3%減）、セグメント損失（営業損失）は83百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,580百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が7,649百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が672百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は18,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,947百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ792百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は2,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ640百万円増加いたしました。これは主に社債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,430百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,433百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,161百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,514百万円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,724百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.8%（前連結会計年度末は58.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月15日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,875,886	13,524,998
受取手形及び売掛金	1,416,604	1,159,715
仕掛品	6,388	7,947
その他	271,542	458,079
貸倒引当金	△660	△417
流動資産合計	7,569,762	15,150,324
固定資産		
有形固定資産	66,758	65,597
無形固定資産		
のれん	1,185,704	1,528,658
ソフトウェア	482,135	443,843
ソフトウェア仮勘定	—	164,918
その他	72	72
無形固定資産合計	1,667,913	2,137,492
投資その他の資産	340,269	1,238,770
固定資産合計	2,074,941	3,441,860
資産合計	9,644,703	18,592,184
負債の部		
流動負債		
買掛金	664,656	967,932
短期借入金	200,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	411,280	243,550
未払法人税等	375,543	190,764
賞与引当金	78,534	70,685
変動報酬引当金	124,886	29,079
その他	745,388	690,409
流動負債合計	2,600,289	3,392,420
固定負債		
長期借入金	1,397,076	1,238,000
社債	—	800,000
固定負債合計	1,397,076	2,038,000
負債合計	3,997,365	5,430,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,148,640	5,872,676
資本剰余金	2,284,759	6,008,795
利益剰余金	1,184,464	1,275,028
株主資本合計	5,617,864	13,156,500
新株予約権	29,473	5,263
純資産合計	5,647,338	13,161,763
負債純資産合計	9,644,703	18,592,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	3,645,314	4,776,253
売上原価	2,428,226	3,015,127
売上総利益	1,217,088	1,761,125
販売費及び一般管理費	874,713	1,414,934
営業利益	342,374	346,191
営業外収益		
受取利息	41	50
為替差益	84	—
その他	451	477
営業外収益合計	577	527
営業外費用		
支払利息	2,693	13,552
支払手数料	—	23,099
株式交付費	189	24,045
株式公開費用	1,356	—
社債発行費	—	8,568
投資事業組合運用損	—	3,362
為替差損	—	690
その他	2,980	1,315
営業外費用合計	7,220	74,633
経常利益	335,731	272,084
特別損失		
関係会社清算損	—	491
特別損失合計	—	491
税金等調整前四半期純利益	335,731	271,592
法人税等	125,407	181,029
四半期純利益	210,324	90,563
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,324	90,563

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	210,324	90,563
四半期包括利益	210,324	90,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,324	90,563
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	335,731	271,592
減価償却費	78,379	120,770
のれん償却額	1,411	155,179
貸倒引当金の増減額(△は減少)	168	△243
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,246	△7,848
変動報酬引当金の増減額(△は減少)	—	△95,807
受取利息	△41	△50
支払利息	2,693	13,552
社債発行費	—	8,568
株式交付費	189	24,045
株式公開費用	1,356	—
為替差損益(△は益)	△317	589
投資事業組合運用損益(△は益)	—	3,362
関係会社清算損益(△は益)	—	491
売上債権の増減額(△は増加)	△231,154	256,888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△471	△1,559
仕入債務の増減額(△は減少)	140,604	303,275
未払金の増減額(△は減少)	△13,474	22,318
その他	123,701	△191,319
小計	419,531	883,808
利息の受取額	41	50
利息の支払額	△2,693	△13,552
法人税等の支払額	△244,124	△553,827
法人税等の還付額	21,982	65,843
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,736	382,321
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,054	△2,768
無形固定資産の取得による支出	△37,347	△202,684
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△680,918
関係会社の整理による収入	—	4,508
敷金の差入による支出	△58,073	△216,361
敷金の回収による収入	6,883	1,162
事業譲受による支出	—	△500,000
その他	△180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,772	△1,597,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△89,634	△326,806
社債の発行による収入	—	991,431
株式の発行による収入	32,654	7,399,817
自己株式の処分による収入	131,376	—
その他	△6,818	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	267,577	8,864,442
現金及び現金同等物に係る換算差額	317	△589
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	282,859	7,649,112
現金及び現金同等物の期首残高	1,846,580	5,875,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,129,439	13,524,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ3,724,036千円増加しました。これは主に2018年11月5日に発行いたしました第5回新株予約権(行使価額修正条項・下限行使価額修正選択権及び行使許可条項付)の権利行使に伴う新株式発行によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,872,676千円、資本準備金が5,842,676千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォーメ ーション 事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,481,965	1,908,991	57,904	3,448,860	196,453	—	3,645,314
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	74,272	5,000	79,272	14,343	△93,616	—
計	1,481,965	1,983,263	62,904	3,528,133	210,797	△93,616	3,645,314
セグメント利益 又は損失(△)	290,774	111,762	△5,411	397,125	38,519	△93,270	342,374

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,270千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォーメ ーション 事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,812,487	2,817,452	20,700	4,650,640	125,612	—	4,776,253
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84,600	117,128	14,000	215,728	35,820	△251,548	—
計	1,897,087	2,934,581	34,700	4,866,369	161,432	△251,548	4,776,253
セグメント利益 又は損失(△)	238,397	350,102	△83,540	504,958	57,881	△216,649	346,191

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△216,649千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称の変更)

当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」事業に含まれていた「コンサルティング」事業の名称を「RaaS事業」に変更しております。

(報告セグメントの変更)

当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「RaaS事業」について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。